

職域接種に関する Q&A（令和3年6月11日版）

◆ 1. 対象

Q1-1. 職域接種の対象を教えてください。

A. 企業であれば自社の従業員の他に、関連企業など、大学であれば学生なども対象にしていただいかまいません。

Q1-2. 日本国内に居住し、住民基本台帳に登録されている外国人労働者は、接種の対象になりますか？

A. 新型コロナワクチンの接種は、住民基本台帳に登録されている方が対象となります。

Q1-3. 接種券が届いていない人も接種できますか？

A. 接種券を受け取っていない方も職域接種の対象です。接種券が届いていない方の場合、予診票に記載した住所・氏名・生年月日等を本人確認書類により確認し、予診票は後日被接種者が接種券を持参するまで企業・接種医療機関等において保管してください。

◆ 2. 接種会場

Q2-1. ワクチンやフリーザーはどこに届きますか？

A. 申請フォームに記入していただいた接種会場に配送いたします。

Q2-2. 接種会場レイアウトの事前チェックやアドバイスはありますか。模擬訓練は行っていただけますか？

A. レイアウトの事前チェック等を行っておりません。また、接種のリハーサル、動線確認等は企業側で行ってください。

◆ 3. 医療従事者について

Q3-1. 接種に必要な医師や看護師などの人員は、企業側で確保しないといけませんか？

A. 接種に必要な医師や看護師などの人員は企業で確保してください。

Q3-2. 接種担当の医師について、人数の指定や制限はありますか？

A. 接種方法や会場の数、開設時間の設定により必要な医師数や期間が異なることから、実情に合わせて必要な医療従事者数を算定してください。

Q3-3. 看護師や歯科医もワクチン接種を行うことができますか？

A. 医師の指示の下であれば接種は可能です。

◆ 4. 申請

Q4-1. 1会場あたりの接種人数に制限はありますか？

A. 1,000人以上×2回の規模の接種を前提に受付を行っております。1,000人未満の企業の場合は、商工会議所等による取りまとめや複数社による連携等により、1,000人×2回の接種体制をご検討ください。

Q4-2. 申請は誰がしますか？ また、どうやって申請をすればいいですか？

A. 申請は企業が行うことを想定しております。下記 URL にてオンラインで申請を受け付けております。

専用 WEB 入力フォーム：<https://ova.gbiz.go.jp/>

Q4-5. 申請後、実際にワクチンが配布されるのはいつぐらいですか？

A. 申請を受理してから、概ね2～3週間を要します。しかし、受付当初は申請が多く見込まれるため、さらに期間を要する場合があります。確認のメールを受け取るまでは、ワクチンの送付をお約束するものではありません。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

◆ 5. 費用

Q5-1. 接種にかかる費用について教えてください。

A. 新型コロナワクチンの接種に係る費用は、全国統一の単価とし、接種1回目、接種2回目とも共通の2,070円（税込2,277円）としています。会場等の費用は企業負担となっております。

◆ 6. ワクチン

Q6-1. ワクチンの解凍方法、解凍時間を教えてください。

A. モデルナ社ワクチンの解凍方法は、①冷蔵庫(2~8℃)で2時間半静置、②常温(12-25℃)で1時間静置の2種類です。

Q6-2. 2回目の接種のタイミングはいつですか？

A. 1回目の接種から21日目以降、標準的には28日目以降に2回目の接種を行ってください。28日目を超えた場合は速やかに2回目の接種を行ってください。

◆ 7. 副反応

Q7-1. 副反応の対応に必要な医療機器、薬剤等は支給されるのでしょうか？

A. 企業で用意する必要があります。薬剤購入等に関しては予め医療機関等と協議の上、物品や薬剤の準備を行うとともに、常時対応が可能となるよう、救急処置用品について適切な管理を行ってください。

◆ 8. その他

Q8-1. 会場に届いたワクチンを各事業所等に配布しても大丈夫ですか？

A. 保管・トレーサビリティの観点から、会場に届いたワクチンを別の場所に移動させることはできません。

Q8-2. 手引き等の資料はどこにありますか？

A. 厚生労働省 HP の新型コロナワクチンについて-職域接種に関するお知らせのページに記載しております。

<https://www.mhlw.go.jp/content/000789452.pdf>